

落花生「Qなつつ」の ゆで豆に適した栽培法



掘りたてで鮮度のよい生莢を塩ゆでするゆで落花生は、産地ならではの食材として人気があり、近年、生産が増えています。莢が白くきれいで、甘みが強く多収な「Qなつつ（登録品種名「千葉P114号」）」は、デビュー以来、主に煎り莢用として生産されてきましたが、ゆで豆用としても高い適性があります。

この資料では、「Qなつつ」をゆで豆用として栽培するためのポイントを紹介します。

「Qなっつ」のゆで豆適性



Qなっつ

郷の香

- 1 ショ糖含有率が高く、甘い
- 2 莢が白くきれい
- 3 収穫適期はゆで豆用早生品種の「郷の香」よりやや遅い
- 4 ゆで豆としての収量・食味は「郷の香」と同等以上

ゆで豆は鮮度が重要！播種や収穫は計画的に

掘りたての生莢を出荷する上で重要なのが鮮度保持です。収穫から出荷まで短時間で処理する必要があるため、一日に収穫できる量が限られます。

そのため、高い収量で連日途切れなく出荷していくためには、計画的に播種・収穫しなければいけません。

1 収穫・脱莢



7時間

2 洗浄・子房柄除去



1.5時間

3 選別・調製



7.5~10時間

収穫・出荷時の作業工程が多いため、その日に出荷できる量のみ収穫する

注1) 写真右下の時間は1a当たりの作業時間(目安)

2) 作業時間は『令和4年度落花生種子生産に係る生産者の経営調査』(令和5年、NPO法人 ちば農業支援ネットワーク)のデータを使用

3) 機械作業に伴う巡回、機械調整、資材補給等の時間、休憩時間等を含み、複数の作業員で行う場合は延べ作業時間としている

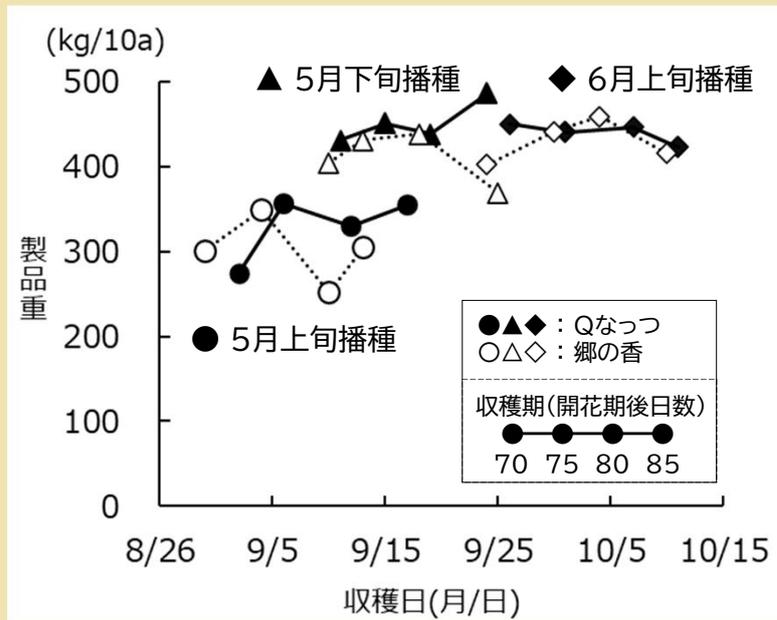
ゆで豆用「Qなっつ」の栽培暦

5月上旬、5月下旬、6月上旬に播種し、開花期後70日以降に順次収穫することで、9月上旬から10月上旬にかけて途切れなく生莢出荷することができます。

月	4月		5月		6月			7月			8月			9月			10月		
	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中
作業 時期 (目安)			播種		開花期			かん水						収穫					
			5月上旬		6月下旬			7月中旬						9月上旬～9月中旬					
			5月下旬		7月上旬			7月下旬						9月中旬～9月下旬					
		6月上旬		7月中旬			8月上旬						9月下旬～10月上旬						

注1)開花期:全株数の40～50%が開花始め(その株の1花目が開花)に達した日
 2)かん水:開花期の20日後に1回実施。干ばつ時はその後10日以内に再度実施

早播き + 早掘りを除き、収量は「郷の香」と同等以上



ほとんどの収穫期で「Qなっつ」の収量は「郷の香」と同等以上です。「郷の香」では掘り遅れにより減収する開花期後80及び85日でも、「Qなっつ」は高い収量を得られます。

一方、5月上旬播種・開花期後70日収穫のように早播き + 早掘りすると未熟な莢が多くなり収量が劣ります。収穫を予定している7～10日前に試し掘りをし、莢の状態を確認してから収穫します。

播種期・収穫期と製品重(令和元年、八街市)

注)製品重はレトルト落花生用の出荷基準を基に選別した莢の重量

さらに詳しい情報はこちら
 『良食味品種「Qなっつ」のゆで豆としての特性と作付体系』
<https://www.pref.chiba.lg.jp/ninaite/shikenkenkyuu/documents/r4n0202.pdf>



「Qなつつ」の栽培上の注意点

「Qなつつ」は品種の特性として、地上部が大きくなりやすいという特徴があります。

他の品種から替えて栽培する際は、以下の点に注意して下さい。



Qなつつ

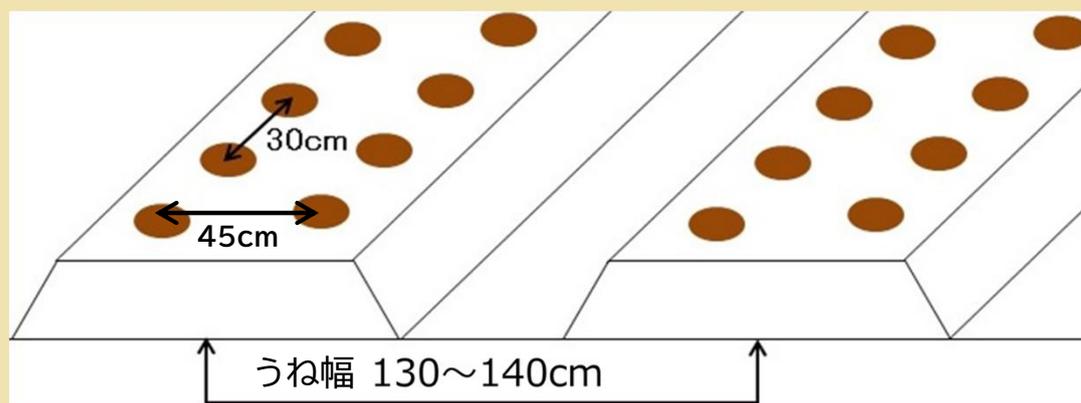
郷の香

1 窒素成分は必要な量のみ施用する

肥料は全量を基肥とし、窒素成分量で3kg/10aを目安とします。追肥や堆肥の多量投入等は控えます。また、残肥が多い野菜跡では、基肥量を適宜減らします。

2 過度な密植は控える

株間30cm、条間45cmの2条植え、うね幅130～140cm、1穴1粒播種を基本とし、過度な密植は控えます。



※基本的な栽培方法は煎り莢用と同じです。

詳しくは、技術指導資料『落花生「千葉P114号」の栽培方法』をご確認ください。

『落花生「千葉P114号」の栽培方法』

<https://www.pref.chiba.lg.jp/ninaite/seikafukyu/documents/03_p114.pdf>



本資料は、イノベーション創出強化研究推進事業「良食味新品種「Qなつつ」を軸とした落花生生産体系の高度化」(01023C)(令和元～3年度)で得られた成果を基に作成しました。

発行 令和6年3月 千葉県・千葉県農林水産技術会議
問い合わせ先 千葉県農林総合研究センター落花生研究室
TEL 043-444-0676